

●チャレコミギャザリング2020春 分科会●

第1ターム（11:00～12:20）

分科会①（GS枠）	分科会②（GS枠）	分科会③（GS枠）	分科会④（GS枠）	分科会⑤
タイトル	タイトル	タイトル	タイトル	タイトル
イナカでインターンをする価値は何か？	「小さなCD組織で私は育つ」 ～若手育成におけるコーチング導入とその成果～	アート思想的インターン ～学生の内発的動機× 企業が地域や社会に提案したいこと～	村の社会実験。コーディネート事業の未来	金融庁菅野大志氏と語る地域金融機関と コーディネート機関の連携のあり方 ～兼業副業展開に向けた実務と課題～
発案者	発案者	発案者	発案者	発案者
いいがたイナカレッジ 阿部氏	株式会社御祓川 圓山氏	合同会社巻組 佐藤氏	株式会社日添 土屋氏	NPO法人ETIC. 伊藤順平
対象者イメージ	対象者イメージ	対象者イメージ	対象者イメージ	対象者イメージ
・地方の田舎でインターンシップのコーディネートを行っている方	・若手育成や人材育成に課題を感じている組織の方 ・自身の成長に悩む若手CDの方 ・武器を見つけたいCDの方 ・コーチングに関心のある方	・現状のインターンシップの形に疑問を抱いている方	・若手コーディネーター、地域おこし協力隊事業との 兼業スタイルに興味がある方 ・小規模自治体でのコーディネート組織の構築に興味 がある方 ・集落単位での地域活動に興味がある方 ・過疎高齢化地域の関係人口に興味がある方	・地域金融機関との連携に興味がある方
コンテンツ紹介	コンテンツ紹介	コンテンツ紹介	コンテンツ紹介	コンテンツ紹介
田舎での実践型インターンシップを実施する価値はなんなのか改めて考える分科会です。様々な災害や地方創生の流れの中で、都市部の若者が地方で様々なチャレンジする流れが生まれました。田舎とそこで自分の可能性にチャレンジしたい若者にとってどのような舞台を準備することがこれから必要なのでしょう？目的は本当に地方の問題解決なのか？自分たちが活動する中で抱えている違和感を共有し、自分たちの目指す方向性のヒントを見つける場にします。	GS FINALで取り組んできた「コーチング」による自身、組織における変化を、インターンコーディネートにおける事例も交えながらご紹介いたします。新卒で株式会社御祓川のCDになった圓山がぶつかった、コーディネーターとしての成長の壁に対して、シニアメンターを務めていただいた南田さんと、プロコーチの高橋さんにそれぞれコーチングのアプローチでサポートいただいたことで、想像を遥かに上回る変化・成長があり、圓山自身もまたコーチとしてのキャリアを踏み出すことになりました。今現在、新人育成や自身の成長について課題や悩みを持つ、CD組織・若手CDの皆さんの参考になれば嬉しく思いますし、CDが武器を持つことの意味や、小さな組織で人が育つ/人を育てることについても皆さんと対話が出来ればと思います。	GSプログラムでの2年間の巻組の取り組みのご報告。加えて、従来の価値観にとらわれないアート思想的インターン（ここでは、学生の内発的動機×企業が地域や社会に提案したいことをベースとしたプロジェクト）の可能性をみなさまと模索する場になれば幸いです。	熊本県五木村、人口1000人の村に完全移住をした若きコーディネーターが、人材コーディネート事業に挑んだ2年間の挑戦の軌跡と現状の報告、そして見えてきた可能性と展望について話します。Uターンとして再び故郷に溶け込み、これまで皆無に等しい状態であった人材マッチングを生業とするために仕掛けた数々のチャレンジや失敗。移住定住コンシェルジュとして地域おこし協力隊の活動も兼業しながら、cafeみなもとも同時に運営、試行錯誤の連続を紐解きます。超小規模地域での人材コーディネート事業の可能性と今後の展望 ・五木村コーディネーター「土屋望生」の情熱と葛藤。	地域の金融機関と連携したい団体必見！志ある金融機関職員と熱量ある公務員のミートアップイベント「ちいきん会」の仕掛人であり、金融×地域活性の最前線にいる金融庁 地域課題解決支援室の菅野さんをゲストに招いての分科会です。「そもそも地域金融機関って？何しているの？どんな人なの？」から、実際に連携するためのポイントまでギュッと濃縮してお話を伺います。 ●そもそも「地域金融機関」の理解を深めよう ●金融機関ごとのニーズの違い ●今、地域の信金が求めていること ●地域の金融機関と協働するための3つのポイント ●金融機関、自治体でのオンライン意見交換会やりたい団体募集
ゲスト紹介	ゲスト紹介	ゲスト紹介	ゲスト紹介	ゲスト紹介
株式会社御祓川 森山奈美氏	NPO法人G-net代表理事 南田修司氏	知識創発研究所 松崎光弘氏	株式会社夢古道おわせ 伊東 将志氏 NPO法人ETIC. 伊藤 淳司氏	金融庁地域課題解決支援室 菅野大志氏
得られるもの	得られるもの	得られるもの	得られるもの	得られるもの
・自分たちの目指す方向性のヒントを見つける	・小さな組織で、おそらく多くの若手が感じている人材育成の課題感、困りごと ・小さな組織における人材育成の仕組み(成功事例) ・「コーチングを受けること」「コーチとしてコーチングを施すこと」両方の経験を踏まえたコーチングによる成果事例 ・コーディネーターが武器を持つための「コーディネーター評価指標」の上手な使い方	・巻組のインターンシップ事例の共有 ・これからの社会でのインターンシップを考える時間の共有	・地方創生事業のリアルな現場感 ・小規模自治体における人材マッチングの事例	・地域金融機関についての理解 ・地域金融機関が今、知りたがっていること ・地域金融機関と繋がるチャンス

●チャレコミギャザリング2020春 分科会 ● 第2ターム (14:00~15:30)

分科会⑥	分科会⑦	分科会⑧	分科会⑨	VBM
タイトル	タイトル	タイトル	タイトル	対象企業
リモートインターンの「仕掛け」設計会議	若者をブーストさせるファンドレイジング戦略会議	「日本人材機構（JHR）さんと実施した「経営分析力 & 提案力向上プログラム」学びのシェア分科会」	地方はオンラインの波をどう乗り越える？	株式会社えぼっく
発案者	発案者	発案者	発案者	発案者
一般社団法人ワカツク 稲葉氏・寺尾氏	一般社団法人わくわくスイッチ 中村氏	NPO法人ETIC. 伊藤順平	株式会社御祓川 森山氏	株式会社えぼっく 若松氏
対象者イメージ	対象者イメージ	対象者イメージ	対象者イメージ	対象者イメージ
<ul style="list-style-type: none"> ・リモートインターンを実施しようと考えている方 ・一緒に考えたい方、 ・リモートインターンのプロジェクト設計やフォローの経験のある方 ※5~6人の参加者を想定しています	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンドレイジング（クラファンや寄付）に取り組んでいる、興味がある団体・個人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「経営分析力 & 提案力向上プログラム」のその後に興味がある方 ・自団体のコーディネーター育成についてヒントを得たい方 ・その他、テーマに関心のある方 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方の事業者への伴走を生業としているコーディネーター 	<準備中>
コンテンツ紹介	コンテンツ紹介	コンテンツ紹介	コンテンツ紹介	コンテンツ紹介
新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、大学では前期授業が完全オンライン化。収束時期が見通せず、後期もどうなるかわからない中で、リモートで参加できるインターンシップの需要は高まることが予想されます。しかし、現地に飛び込むことで醸成されていた企業理解や理念への共感・実感を、リモートでいかに生み出すかという点に難しさを感じています。そのための「仕掛け」を一緒に考えてみませんか？ 前提として、①集客から実施まですべてリモートで完結、②インターン生は1社3~4人、③プログラム全体の期間は2か月程度、④事前研修に2週間程度を費やす、というフレームを想定しています。	クラウドファンディングや寄付はやっているけど中々やり切れていない団体が多いのではないかと思います。わくわくスイッチでは2050年の未来に本当に必要な投資をしてもらえるような枠組みをチャレコミのみなさまと一緒に作りたと思っています。 https://furusatokengyo.jp/project/tokai/aichi/p2137/	日本人材機構さんのバックアップのもと実施した「経営分析力 & 提案力向上プログラム」での学びをシェアする分科会です。研修にご参加いただいたコーディネーターの皆さんと一緒に本研修での学びを振り返ります。「具体的に何をしたのか？」「それにより、どんな変化や学びがあったか？」また、研修をご担当いただいた日本人材機構の矢野さん、宮崎さんをゲストにお迎えし、お二人から見た中間支援組織の可能性や、提供価値の向上についてディスカッションを行います。	新型コロナの影響で、否応なしに迫られたオンライン化の波。一方で、日常的にオンラインを使いこなしているコミュニティと、そこから変わりにくい地方企業の現状の狭間で違和感を感じているコーディネーターもいるのではないのでしょうか？相手に寄り添うという行動様式を持ちながらも、時代の変化にどうやって伴走していけばよいのか？答えのない問いに対して、皆さんと対話してみたいです。	<準備中>
ゲスト紹介	ゲスト紹介	ゲスト紹介	ゲスト紹介	ゲスト紹介
-	-	株式会社日本人材機構 矢野俊介氏 株式会社日本人材機構 宮崎裕孝氏（調整中） 一般社団法人ワカツク 渡辺一馬氏 株式会社御祓川 圓山晃歩氏（調整中）	-	<準備中>
得られるもの	得られるもの	得られるもの	得られるもの	得られるもの
リモートインターンならではの仕掛けやリモートインターンの具体的なプロジェクト例などのアイデア	ファンドレイジングに関する基本的な知識や先行事例など	<ul style="list-style-type: none"> ・「経営分析力 & 提案力向上プログラム」で行われたことの概要 ・自団体の提供価値を高めていくためのヒント 	オンラインそのものや変化に対する抵抗が比較的大きい地方の事業者とのコミュニケーションのあり方、各地の体験談を共有する中で、様々なウェブリテラシーの相手に対する伴走方法について、それぞれの気づきを得ることができます。	<準備中>